

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信託期間	無期限	
主投資対象	「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます。)の受益証券を主要投資対象とします。直接公社債等に投資する場合があります。	
運用方針	しんきん先進国債券インデックス (為替ヘッジあり) (投資一任用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドの受益証券への投資を通じて、外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</li> <li>実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。</li> </ul>
	しんきん先進国債券インデックス (為替ヘッジなし) (投資一任用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドの受益証券への投資を通じて、外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</li> <li>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
	為替ヘッジあり／ 為替ヘッジなし (共通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</li> <li>運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、金融商品取引所における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。</li> <li>市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>
主投資制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
収益分配方針	<p>年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>	

## 運用報告書(全体版)

しんきん先進国債券インデックス  
(為替ヘッジあり)(投資一任用)  
(為替ヘッジなし)(投資一任用)

決算日

(第1期:2022年11月21日)


受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)(投資一任用)／(為替ヘッジなし)(投資一任用)」は2022年11月21日に第1期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社  
 <コールセンター> ☎ 0120-781812  
 (土日、休日を除く) 携帯電話・PHSからは03-5524-8181  
 9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

# 目 次

---

◇しんきん先進国債券インデックス	頁
為替ヘッジあり（投資一任用） .....	1
為替ヘッジなし（投資一任用） .....	9
分配金のお知らせ .....	17
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド .....	18

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース) <sup>*</sup>		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰			
(設定日)	円							百万円
2022年2月18日	10,000	—	—	—	ポイント 10,000	—	—	0.1
1期(2022年11月21日)	8,034	0	△19.7		8,718	△12.8	94.6	0.1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万円当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注4) FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は2022年2月18日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投資が算出したものです。（以下同じ。）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース) <sup>*</sup>		債 組 入 比	券 率
	騰 落	率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(設定日)	円	%	ポイント	%		%
2022年2月18日	10,000	—	10,000	—		—
2月末	9,961	△ 0.4	9,966	△ 0.3		99.3
3月末	9,705	△ 3.0	9,707	△ 2.9		100.4
4月末	8,713	△12.9	9,482	△ 5.2		95.7
5月末	8,632	△13.7	9,397	△ 6.0		95.8
6月末	8,415	△15.9	9,148	△ 8.5		97.9
7月末	8,629	△13.7	9,397	△ 6.0		96.0
8月末	8,347	△16.5	9,073	△ 9.3		97.9
9月末	8,001	△20.0	8,678	△13.2		98.8
10月末	7,965	△20.4	8,640	△13.6		101.7
(期 末)						
2022年11月21日	8,034	△19.7	8,718	△12.8		94.6

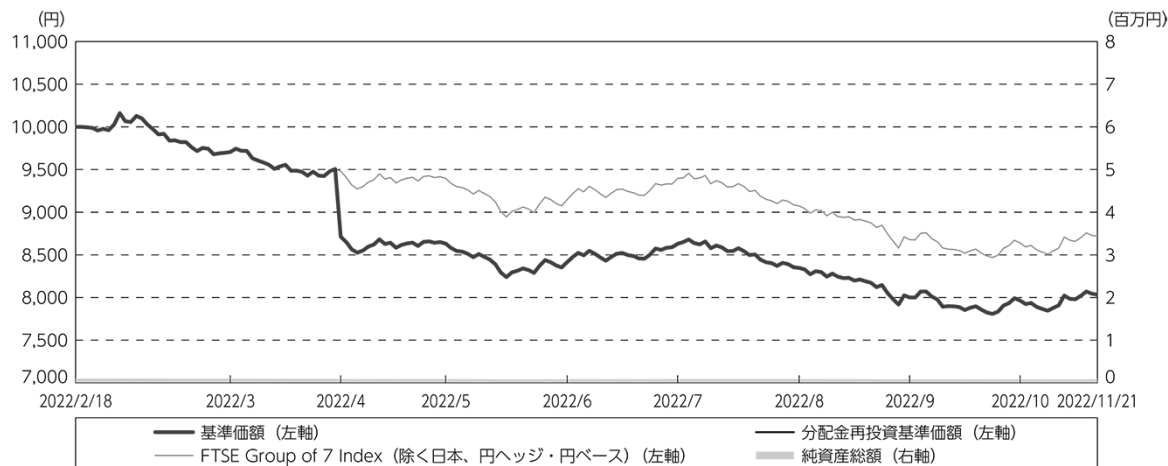
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○第1期の運用経過等（2022年2月18日～2022年11月21日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注3) ベンチマークは、FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)です。

＜基準価額の主な変動要因＞

当ファンドは、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、円ヘッジ・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・2022年6月から7月において、米国の景気減速懸念が広がり、世界的に金利低下が進んだこと。

＜下落要因＞

- ・2022年3月以降、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、継続的に利上げが決定されており、また、その後もインフレ対策のために利上げを継続し、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いと米連邦準備制度理事会（FRB）高官が示唆したことを受けて、米国金利が上昇したこと。
- ・ロシア産ガスの供給に対する不透明感や、中国の経済成長鈍化を背景とした欧州景気減速への懸念がくすぶっている一方で、高インフレを抑制するため、欧州中央銀行（ECB）による積極的な金融引締めへの期待感が高まっていることを受け、ドイツを中心とした欧州国債の金利が上昇したこと。

## ＜投資環境＞

### （米国債券市況）

当期初から金利は上昇傾向での推移が続いていたものの、2022年6月中旬から7月末にかけては、米経済指標が冴えない結果となったことで米国の景気減速懸念が高まり、金利が低下する局面がありました。8月以降は、インフレ高進を抑制するため、FRBが大幅な利上げを継続的に実施していることや、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いと示唆されたことで、金利は上昇基調で推移しました。

### （欧州債券市況）

当期初から揉み合う展開が続いていましたが、インフレ高進を抑制するための継続的な利上げが予想されていることや、2022年9月にイギリス政府による大規模な減税政策と国債増発計画の発表を受けて、イギリスの長期金利が急上昇した流れがドイツ国債を中心とした欧州国債全体へ波及し、欧州金利は上昇基調で推移しました。

### （為替市況：ドル円市場）

当期初から、FRBがインフレ高進を抑制するため、大幅な利上げを継続的に実施していることで、米国金利が上昇し、米ドル高円安基調で推移しました。一方で、日本政府・日本銀行が円買いドル売り介入を実施したと見られる場面では、一時的に急激な円高が進むこともありましたが、当期間は日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢でした。

### （為替市況：ユーロ円市場）

当期初から揉み合う展開が続いていましたが、2022年9月のECB政策理事会で大幅な利上げが行われるという見方から、ユーロが買われやすい展開となった一方で、イギリス政権が発表した経済対策に伴う財政悪化への懸念が欧州全体へと広がり、ユーロ安となる場面もありました。その後は、日本政府・日本銀行が円買いドル売り介入を実施したと見られ、連れてユーロ円でも一時的に急激な円高が進む場面も見られましたが、10月以降のECB政策理事会で利上げが引き続き行われるという見方から、ユーロが買われやすい展開となりました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

### ●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期末の2022年11月21日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.66年、時価最終利回りは3.70%となっています。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期の基準価額の騰落率は△19.7%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は△12.8%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因に加え、ファンド設定当初の費用、カストディアンフィー（保管費用）などファンドが負担する各種費用等が含まれています。

## ＜分配金＞

当期の収益分配金については、基準価額の水準、市場動向等の諸々の状況を勘案して見送りとしました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期
	2022年2月18日～ 2022年11月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、FTSE Group of 7 Index（除く日本、円ヘッジ・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

### ●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

（2022年2月18日～2022年11月21日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 13	% 0.150	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 11)	(0.125)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 1)	(0.008)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	793	9.103	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 4)	(0.046)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 19)	(0.212)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(770)	(8.844)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	806	9.253	
期中の平均基準価額は、8,707円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

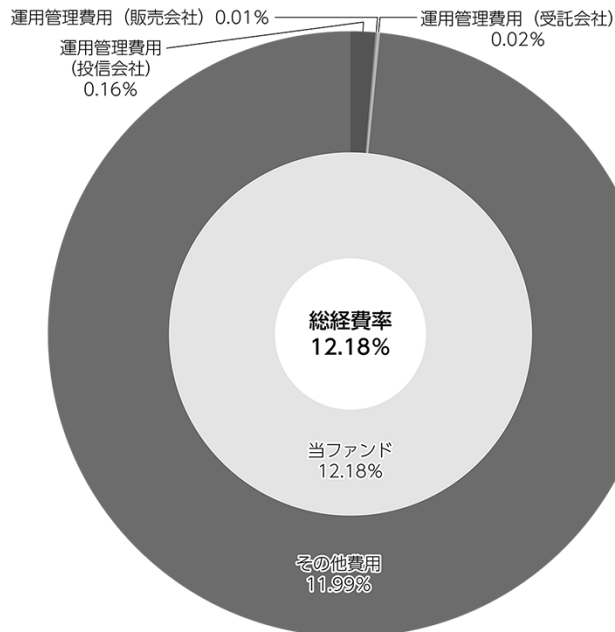
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は12.18%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



# しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジあり）（投資一任用）

## ○売買及び取引の状況

（2022年2月18日～2022年11月21日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド		103	104	27	28

（注）単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2022年2月18日～2022年11月21日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

（2022年2月18日～2022年11月21日）

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2022年2月18日～2022年11月21日）

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

（2022年11月21日現在）

### 親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド		76	79

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

# しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジあり）（投資一任用）

## ○投資信託財産の構成

（2022年11月21日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん先進国債券インデックススマザーファンド	79	95.3
コール・ローン等、その他	4	4.7
投資信託財産総額	83	100.0

（注1）評価額の単位未満は切り捨て。

（注2）しんきん先進国債券インデックススマザーファンドにおいて、2022年11月21日現在における外貨建純資産（2,514,357千円）の投資信託財産総額（2,515,959千円）に対する比率は99.9%です。

（注3）外貨建資産は、2022年11月21日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2022年11月21日現在、1ドル=140.36円、1カナダドル=104.82円、1ユーロ=144.81円、1ポンド=166.59円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年11月21日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	162,687
コール・ローン等	1,574
しんきん先進国債券インデックススマザーファンド(評価額)	79,315
未収入金	81,798
(B) 負債	79,546
未払金	79,468
未払信託報酬	14
その他未払費用	64
(C) 純資産総額(A-B)	83,141
元本	103,487
次期繰越損益金	△ 20,346
(D) 受益権総口数	103,487口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,034円

（注1）当ファンドの設定時元本額は100,000円、期中追加設定元本額は3,487円、期中一部解約元本額は0円です。

（注2）1口当たり純資産額は0.8034円です。

## ○損益の状況（2022年2月18日～2022年11月21日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△11,923
売買益	7,805
売買損	△19,728
(B) 信託報酬等	△ 7,928
(C) 当期損益金(A+B)	△19,851
(D) 追加信託差損益金	△ 495
(売買損益相当額)	(△ 495)
(E) 計(C+D)	△20,346
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	△20,346
追加信託差損益金	△ 495
(配当等相当額)	( 4)
(売買損益相当額)	(△ 499)
繰越損益金	△19,851

（注1）損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4）計算期間末における費用控除後の配当等収益(0.0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、および信託約款に規定する収益調整金(4円)より分配対象収益は4円(10,000口当たり0.38円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) <sup>*</sup>		債 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(設定日)	円	円	%	ポイント	%	%	百万円
2022年2月18日	10,000	—	—	10,000	—	—	0.1
1期(2022年11月21日)	10,384	0	3.8	10,387	3.9	98.8	2

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万口当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注4) FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は2022年2月18日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものです。（以下同じ。）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) <sup>*</sup>		債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率	
(設定日)	円	%	ポイント	%	%
2022年2月18日	10,000	—	10,000	—	—
2月末	9,951	△0.5	9,968	△0.3	99.4
3月末	10,268	2.7	10,241	2.4	99.3
4月末	10,341	3.4	10,294	2.9	99.2
5月末	10,274	2.7	10,247	2.5	99.0
6月末	10,558	5.6	10,592	5.9	98.9
7月末	10,617	6.2	10,614	6.1	98.9
8月末	10,508	5.1	10,530	5.3	98.7
9月末	10,434	4.3	10,408	4.1	99.2
10月末	10,716	7.2	10,681	6.8	98.9
(期 末)					
2022年11月21日	10,384	3.8	10,387	3.9	98.8

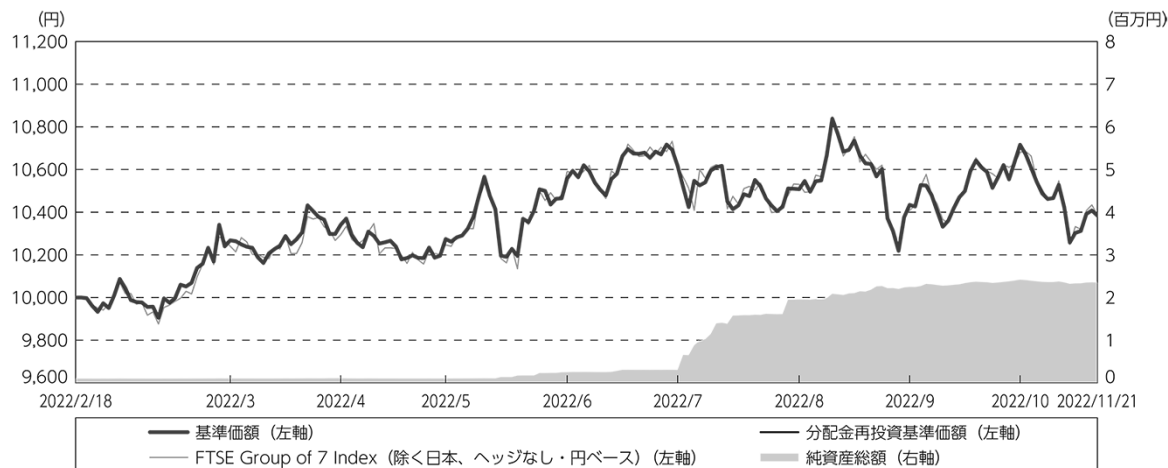
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○第1期の運用経過等（2022年2月18日～2022年11月21日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



（注1）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注3）ベンチマークは、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。

＜基準価額の主な変動要因＞

当ファンドは、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・2022年3月以降、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレ高進を抑制するため、大幅な利上げを継続的に実施していることで、米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢となり、米ドル高円安が進んだこと。
- ・欧州の景気減速への懸念が高まっているものの、欧州中央銀行（ECB）政策理事会での継続的な利上げに対する観測が高まっていることや、イギリス財政の悪化懸念を背景に欧州国債金利が上昇基調で推移する中、ユーロ高円安となったこと。

＜下落要因＞

- ・2022年3月以降、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、継続的に利上げが決定されており、また、その後もインフレ対策のために利上げを継続し、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いとFRB高官が示唆したことを受けて、米国金利が上昇したこと。
- ・ロシア産ガスの供給に対する不透明感や、中国の経済成長鈍化を背景とした欧州景気減速への懸念がくすぶっている一方で、高インフレを抑制するため、ECBによる積極的な金融引締めへの期待感が高まっていることを受け、ドイツを中心とした欧州国債の金利が上昇したこと。

## ＜投資環境＞

### （米国債券市況）

当期初から金利は上昇傾向での推移が続いていたものの、2022年6月中旬から7月末にかけては、米経済指標が冴えない結果となったことで米国の景気減速懸念が高まり、金利が低下する局面がありました。8月以降は、インフレ高進を抑制するため、FRBが大幅な利上げを継続的に実施していることや、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いと示唆されたことで、金利は上昇基調で推移しました。

### （欧州債券市況）

当期初から揉み合う展開が続いていましたが、インフレ高進を抑制するための継続的な利上げが予想されていることや、2022年9月にイギリス政府による大規模な減税政策と国債増発計画の発表を受けて、イギリスの長期金利が急上昇した流れがドイツ国債を中心とした欧州国債全体へ波及し、欧州金利は上昇基調で推移しました。

### （為替市況：ドル円市場）

当期初から、FRBがインフレ高進を抑制するため、大幅な利上げを継続的に実施していることで、米国金利が上昇し、米ドル高円安基調で推移しました。一方で、日本政府・日本銀行が円買いドル売り介入を実施したと見られる場面では、一時的に急激な円高が進むこともありましたが、当期間は日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢でした。

### （為替市況：ユーロ円市場）

当期初から揉み合う展開が続いていましたが、2022年9月のECB政策理事会で大幅な利上げが行われるという見方から、ユーロが買われやすい展開となった一方で、イギリス政権が発表した経済対策に伴う財政悪化への懸念が欧州全体へと広がり、ユーロ安となる場面もありました。その後は、日本政府・日本銀行が円買いドル売り介入を実施したと見られ、連れてユーロ円でも一時的に急激な円高が進む場面も見られましたが、10月以降のECB政策理事会で利上げが引き続き行われるという見方から、ユーロが買われやすい展開となりました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

### ●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期末の2022年11月21日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.66年、時価最終利回りは3.70%となっています。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期の基準価額の騰落率は+3.8%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+3.9%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因、カストディアンフィー（保管費用）などファンドが負担する各種費用等が含まれています。

## ＜分配金＞

当期の収益分配金については、基準価額の水準、市場動向等の諸々の状況を勘案して見送りとしました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期
	2022年2月18日～ 2022年11月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	384

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、親投資信託である「しんきん先進国債券インデックスマザーファンド」の受益証券への投資を通じて、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

### ●しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2022年2月18日～2022年11月21日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 16	% 0.150	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(13)	(0.125)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.008)	交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	8	0.077	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(6)	(0.055)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.022)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	24	0.227	
期中の平均基準価額は、10,407円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

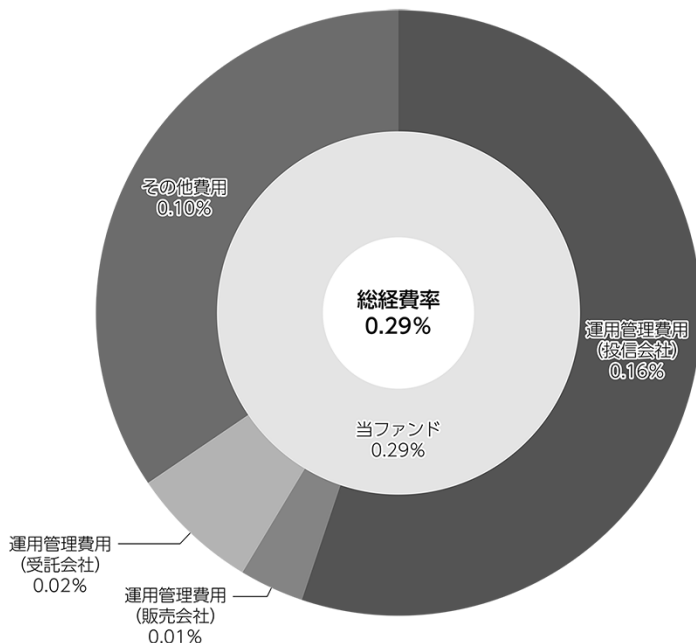
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.29%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジなし）（投資一任用）

### ○売買及び取引の状況

（2022年2月18日～2022年11月21日）

#### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド		千口 2,256	千円 2,373	千口 5	千円 5

（注）単位未満は切り捨て。

### ○利害関係人との取引状況等

（2022年2月18日～2022年11月21日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

（2022年2月18日～2022年11月21日）

該当事項はございません。

### ○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2022年2月18日～2022年11月21日）

該当事項はございません。

### ○組入資産の明細

（2022年11月21日現在）

#### 親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド		千口 2,251	千円 2,342

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

# しんきん先進国債券インデックス（為替ヘッジなし）（投資一任用）

## ○投資信託財産の構成

（2022年11月21日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド	2,342	99.6
コール・ローン等、その他	9	0.4
投資信託財産総額	2,351	100.0

（注1） 評価額の単位未満は切り捨て。

（注2） しんきん先進国債券インデックスマザーファンドにおいて、2022年11月21日現在における外貨建純資産（2,514,357千円）の投資信託財産総額（2,515,959千円）に対する比率は99.9%です。

（注3） 外貨建資産は、2022年11月21日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2022年11月21日現在、1ドル=140.36円、1カナダドル=104.82円、1ユーロ=144.81円、1ポンド=166.59円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年11月21日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,351,671
コール・ローン等	9,420
しんきん先進国債券インデックスマザーファンド(評価額)	2,342,251
(B) 負債	1,157
未払信託報酬	1,093
その他未払費用	64
(C) 純資産総額(A-B)	2,350,514
元本	2,263,495
次期繰越損益金	87,019
(D) 受益権総口数	2,263,495口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,384円

（注1） 当ファンドの設定時元本額は100,000円、期中追加設定元本額は2,185,066円、期中一部解約元本額は21,571円です。

（注2） 1口当たり純資産額は1.0384円です。

## ○損益の状況（2022年2月18日～2022年11月21日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 25,682
売買益	158
売買損	△ 25,840
(B) 信託報酬等	△ 1,444
(C) 当期損益金(A+B)	△ 27,126
(D) 追加信託差損益金	114,145
(売買損益相当額)	( 114,145)
(E) 計(C+D)	87,019
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	87,019
追加信託差損益金	114,145
(配当等相当額)	( 3,945)
(売買損益相当額)	( 110,200)
分配準備積立金	13,872
繰越損益金	△ 40,998

（注1） 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2） 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3） 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注4） 計算期間末における費用控除後の配当等収益(13,872円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、および信託約款に規定する収益調整金(73,147円)より分配対象収益は87,019円(10,000口当たり384円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## ○分配金のお知らせ

---

### 1万口当たり分配金（税込み）

しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)(投資一任用)	0円
しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)(投資一任用)	0円

# 運用報告書

## 親投資信託

# しんきん先進国債券インデックスマザーファンド

第1期

(決算日：2022年11月21日)

しんきん先進国債券インデックスマザーファンドの第1期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
主要投資対象	外国の公社債を主要投資対象とします。
運用方針	<p>①主として外国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。</p> <p>②外貨建資産の組入比率については、原則として高位を保ちます。</p> <p>③運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、金融商品取引所における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。</p>
投資制限	<p>①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>②新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p> <p>③投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑤同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑥同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>⑦外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)※ (ベンチマーク)		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
(設定日)	円	%	ポイント	%	%		百万円
2022年2月18日	10,000	—	10,000	—	—		2,999
1期(2022年11月21日)	10,405	4.1	10,387	3.9	99.1		2,515

(注1) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万円当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注2) FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は2022年2月18日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント  
投信が算出したものです。（以下同じ。）

○当期中の基準価額と市況等の推移

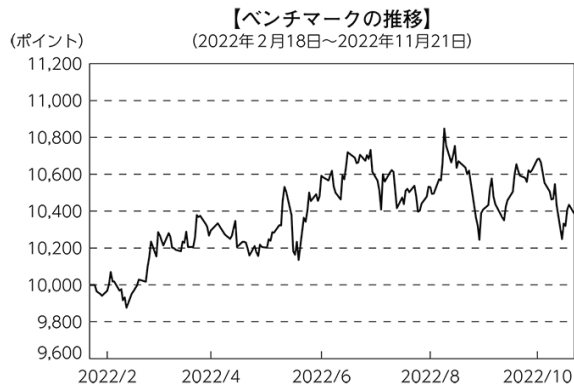
年 月 日	基 準 価 額		FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース)※ (ベンチマーク)		債 組 入 比	券 率
	騰 落	率	騰 落	率		
(設定日)	円	%	ポイント	%	%	
2022年2月18日	10,000	—	10,000	—	—	
2月末	9,952	△0.5	9,968	△0.3	99.6	
3月末	10,272	2.7	10,241	2.4	99.5	
4月末	10,348	3.5	10,294	2.9	99.3	
5月末	10,283	2.8	10,247	2.5	99.1	
6月末	10,570	5.7	10,592	5.9	99.2	
7月末	10,632	6.3	10,614	6.1	99.1	
8月末	10,524	5.2	10,530	5.3	98.8	
9月末	10,452	4.5	10,408	4.1	99.4	
10月末	10,737	7.4	10,681	6.8	99.2	
(期 末)						
2022年11月21日	10,405	4.1	10,387	3.9	99.1	

(注) 騰落率は設定日比です。

※FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○第 1 期の運用経過等 (2022年 2 月 18 日～2022年11月21日)

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index (除く日本、ヘッジなし・円ベース) に連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・2022年 3 月以降、米連邦準備制度理事会 (F R B) がインフレ高進を抑制するため、大幅な利上げを継続的に実施していることで、米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢となり、米ドル高円安が進んだこと。
- ・欧州の景気減速への懸念が高まっているものの、欧州中央銀行 (E C B) 政策理事会での継続的な利上げに対する観測が高まっていることや、イギリス財政の悪化懸念を背景に欧州国債金利が上昇基調で推移する中、ユーロ高円安となったこと。

<下落要因>

- ・2022年 3 月以降、米連邦公開市場委員会 (F O M C) において、継続的に利上げが決定されており、また、その後もインフレ対策のために利上げを継続し、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いと F R B 高官が示唆したことを受けて、米国金利が上昇したこと。
- ・ロシア産ガスの供給に対する不透明感や、中国の経済成長鈍化を背景とした欧州景気減速への懸念がくすぶっている一方で、高インフレを抑制するため、E C B による積極的な金融引締めへの期待感が高まっていることを受け、ドイツを中心とした欧州国債の金利が上昇したこと。

## ＜投資環境＞

### （米国債券市況）

当期初から金利は上昇傾向での推移が続いていたものの、2022年6月中旬から7月末にかけては、米経済指標が冴えない結果となったことで米国の景気減速懸念が高まり、金利が低下する局面がありました。8月以降は、インフレ高進を抑制するため、FRBが大幅な利上げを継続的に実施していることや、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いと示唆されたことで、金利は上昇基調で推移しました。

### （欧州債券市況）

当期初から揉み合う展開が続いていましたが、インフレ高進を抑制するための継続的な利上げが予想されていることや、2022年9月にイギリス政府による大規模な減税政策と国債増発計画の発表を受けて、イギリスの長期金利が急上昇した流れがドイツ国債を中心とした欧州国債全体へ波及し、欧州金利は上昇基調で推移しました。

### （為替市況：ドル円市場）

当期初から、FRBがインフレ高進を抑制するため、大幅な利上げを継続的に実施していることで、米国金利が上昇し、米ドル高円安基調で推移しました。一方で、日本政府・日本銀行が円買いドル売り介入を実施したと見られる場面では、一時的に急激な円高が進むこともありましたが、当期間は日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢でした。

### （為替市況：ユーロ円市場）

当期初から揉み合う展開が続いていましたが、2022年9月のECB政策理事会で大幅な利上げが行われるという見方から、ユーロが買われやすい展開となった一方で、イギリス政権が発表した経済対策に伴う財政悪化への懸念が欧州全体へと広がり、ユーロ安となる場面もありました。その後は、日本政府・日本銀行が円買いドル売り介入を実施したと見られ、連れてユーロ円でも一時的に急激な円高が進む場面も見られましたが、10月以降のECB政策理事会で利上げが引き続き行われるという見方から、ユーロが買われやすい展開となりました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

主として先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。

当期末の2022年11月21日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は6.66年、時価最終利回りは3.70%となっています。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期の基準価額の騰落率は+4.1%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+3.9%となりました。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因、カストディーフィー（保管費用）などファンドが負担する各種費用等が含まれています。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、先進国の公社債に投資し、FTSE Group of 7 Index（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に連動する投資成果を目指して運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 2 月 18 日～2022年 11 月 21 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.047	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.047)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5	0.047	
期中の平均基準価額は、10,418円です。			

(注 1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注 2) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第 3 位未満は四捨五入しています。

○ 売買及び取引の状況

(2022年 2 月 18 日～2022年 11 月 21 日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千ドル 18,222	千ドル 5,358
	カナダ	国債証券	千カナダドル 1,021	千カナダドル 331
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	2,433	825
	イタリア	国債証券	4,458	2,541
	フランス	国債証券	3,301	1,091
	イギリス	国債証券	千ポンド 1,528	千ポンド 404

(注 1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注 2) 単位未満は切り捨て。

○ 利害関係人との取引状況等

(2022年 2 月 18 日～2022年 11 月 21 日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。



## ○組入資産の明細

(2022年11月21日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千ドル 12,739	千ドル 11,243	千円 1,578,136	% 62.7	% —	% 25.3	% 24.9	% 12.5
カナダ	千カナダドル 686	千カナダドル 625	65,513	2.6	—	1.5	0.5	0.6
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	1,405	1,362	197,350	7.8	—	4.3	2.3	1.2
イタリア	1,678	1,652	239,368	9.5	—	4.6	3.9	1.0
フランス	2,047	1,858	269,073	10.7	—	5.6	4.4	0.7
イギリス	千ポンド 960	千ポンド 870	145,057	5.8	—	4.5	0.8	0.5
合 計	—	—	2,494,499	99.1	—	45.8	36.9	16.5

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) 一印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー 第 1 期 ー

(B) 外国 (外貨建) 公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千ドル	千ドル	千円		
アメリカ	国債証券	T-BOND 2.000 08/15/51	2.0	702	462	64,862	2051/8/15
		T-BOND 2.000 11/15/41	2.0	315	223	31,356	2041/11/15
		T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	815	685	96,211	2048/5/15
		T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	325	357	50,118	2037/2/15
		T-NOTE 0.250 05/15/24	0.25	520	486	68,337	2024/5/15
		T-NOTE 0.375 01/31/26	0.375	86	76	10,683	2026/1/31
		T-NOTE 0.500 05/31/27	0.5	527	449	63,160	2027/5/31
		T-NOTE 0.625 05/15/30	0.625	340	269	37,793	2030/5/15
		T-NOTE 0.750 01/31/28	0.75	577	489	68,668	2028/1/31
		T-NOTE 0.750 03/31/26	0.75	450	401	56,332	2026/3/31
		T-NOTE 0.750 12/31/23	0.75	340	325	45,664	2023/12/31
		T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	340	272	38,265	2030/11/15
		T-NOTE 1.000 07/31/28	1.0	65	55	7,743	2028/7/31
		T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	643	598	84,039	2025/1/15
		T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	340	277	38,899	2031/11/15
		T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	105	89	12,559	2030/2/15
		T-NOTE 1.500 08/15/26	1.5	527	478	67,133	2026/8/15
		T-NOTE 1.500 11/30/28	1.5	65	56	7,913	2028/11/30
		T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	182	167	23,513	2026/2/15
		T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	86	78	11,065	2026/5/15
		T-NOTE 1.625 05/15/31	1.625	340	286	40,224	2031/5/15
		T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	104	90	12,647	2029/8/15
		T-NOTE 1.750 11/15/29	1.75	104	90	12,755	2029/11/15
		T-NOTE 2.000 02/15/25	2.0	86	81	11,442	2025/2/15
		T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	643	604	84,825	2025/8/15
		T-NOTE 2.000 11/15/26	2.0	267	246	34,536	2026/11/15
		T-NOTE 2.125 05/15/25	2.125	86	81	11,426	2025/5/15
		T-NOTE 2.250 02/15/27	2.25	267	247	34,776	2027/2/15
		T-NOTE 2.250 08/15/27	2.25	527	486	68,291	2027/8/15
		T-NOTE 2.250 11/15/24	2.25	86	82	11,549	2024/11/15
		T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	86	81	11,381	2025/11/15
		T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	65	59	8,392	2027/11/15
		T-NOTE 2.375 05/15/29	2.375	94	85	11,994	2029/5/15
		T-NOTE 2.375 08/15/24	2.375	690	663	93,159	2024/8/15
		T-NOTE 2.500 02/15/45	2.5	545	408	57,363	2045/2/15
		T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	86	81	11,481	2026/1/31
		T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	94	86	12,200	2029/2/15
		T-NOTE 2.750 02/15/24	2.75	701	683	95,990	2024/2/15
		T-NOTE 2.750 02/15/28	2.75	65	61	8,572	2028/2/15
		T-NOTE 2.750 02/28/25	2.75	86	82	11,628	2025/2/28
T-NOTE 2.875 05/15/28	2.875	65	61	8,610	2028/5/15		
T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	86	82	11,635	2025/5/31		
T-NOTE 2.875 08/15/28	2.875	65	61	8,590	2028/8/15		
T-NOTE 3.000 10/31/25	3.0	86	82	11,639	2025/10/31		

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第1期ー

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円	
	国債証券	T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	65	61	8,696	2028/11/15
小 計						1,578,136	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CAN 0.500 09/01/25	0.5	105	96	10,063	2025/9/1
		CAN 0.500 11/01/23	0.5	75	72	7,589	2023/11/1
		CAN 0.500 12/01/30	0.5	31	25	2,652	2030/12/1
		CAN 0.750 10/01/24	0.75	25	23	2,472	2024/10/1
		CAN 1.000 06/01/27	1.0	11	9	1,042	2027/6/1
		CAN 1.000 09/01/26	1.0	19	17	1,812	2026/9/1
		CAN 1.250 06/01/30	1.25	21	18	1,929	2030/6/1
		CAN 1.500 06/01/31	1.5	45	39	4,151	2031/6/1
		CAN 1.500 12/01/31	1.5	85	74	7,782	2031/12/1
		CAN 2.000 06/01/28	2.0	38	35	3,749	2028/6/1
		CAN 2.000 06/01/32	2.0	11	9	1,047	2032/6/1
		CAN 2.000 09/01/23	2.0	14	13	1,441	2023/9/1
		CAN 2.000 12/01/51	2.0	81	62	6,535	2051/12/1
		CAN 2.250 03/01/24	2.25	36	35	3,688	2024/3/1
		CAN 2.250 06/01/29	2.25	35	33	3,482	2029/6/1
		CAN 2.750 12/01/48	2.75	7	6	670	2048/12/1
		CAN 4.000 06/01/41	4.0	47	51	5,401	2041/6/1
小 計						65,513	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	BKO 0.000 03/15/24	—	21	20	2,958	2024/3/15
		DBR 0.000 02/15/31	—	37	31	4,568	2031/2/15
		DBR 0.000 02/15/32	—	25	20	3,019	2032/2/15
		DBR 0.000 08/15/26	—	62	57	8,355	2026/8/15
		DBR 0.000 08/15/29	—	20	17	2,542	2029/8/15
		DBR 0.000 08/15/30	—	18	15	2,245	2030/8/15
		DBR 0.000 08/15/31	—	37	31	4,525	2031/8/15
		DBR 0.000 08/15/50	—	130	76	11,078	2050/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	137	123	17,874	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/25	0.5	60	58	8,401	2025/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	81	77	11,197	2026/2/15
		DBR 0.500 08/15/27	0.5	140	131	18,976	2027/8/15
		DBR 1.000 08/15/24	1.0	103	101	14,656	2024/8/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	62	60	8,743	2025/8/15
		DBR 1.500 05/15/24	1.5	45	44	6,463	2024/5/15
		DBR 1.750 02/15/24	1.75	45	44	6,491	2024/2/15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	131	154	22,412	2042/7/4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	101	123	17,950	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	101	115	16,720	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	29	37	5,362	2034/7/4
		OBL 1.300 10/15/27	1.3	20	19	2,805	2027/10/15
イタリア	国債証券	BTPS 0.000 01/15/24	—	183	177	25,723	2024/1/15
		BTPS 0.000 01/30/24	—	4	3	561	2024/1/30
		BTPS 0.000 12/15/24	—	249	236	34,233	2024/12/15

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第1期ー

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア	国債証券	BTPS 0.500 02/01/26	0.5	189	174	25,320	2026/2/1
		BTPS 1.350 04/01/30	1.35	130	111	16,199	2030/4/1
		BTPS 1.650 03/01/32	1.65	50	42	6,091	2032/3/1
		BTPS 1.800 03/01/41	1.8	50	36	5,224	2041/3/1
		BTPS 2.000 02/01/28	2.0	30	28	4,089	2028/2/1
		BTPS 2.150 03/01/72	2.15	35	22	3,246	2072/3/1
		BTPS 2.250 09/01/36	2.25	60	49	7,163	2036/9/1
		BTPS 3.350 03/01/35	3.35	78	72	10,557	2035/3/1
		BTPS 3.850 09/01/49	3.85	82	81	11,733	2049/9/1
		BTPS 4.750 09/01/44	4.75	67	74	10,739	2044/9/1
		BTPS 5.000 09/01/40	5.0	80	89	12,977	2040/9/1
		BTPS 5.750 02/01/33	5.75	120	138	20,101	2033/2/1
		BTPS 6.000 05/01/31	6.0	38	44	6,472	2031/5/1
		BTPS 6.500 11/01/27	6.5	233	268	38,930	2027/11/1
フランス	国債証券	FRTR 0.000 02/25/24	—	85	82	11,991	2024/2/25
		FRTR 0.000 02/25/27	—	47	42	6,200	2027/2/25
		FRTR 0.000 11/25/30	—	22	18	2,654	2030/11/25
		FRTR 0.250 11/25/26	0.25	63	58	8,449	2026/11/25
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	85	81	11,809	2025/5/25
		FRTR 0.500 05/25/26	0.5	30	28	4,095	2026/5/25
		FRTR 0.500 05/25/29	0.5	84	75	10,880	2029/5/25
		FRTR 0.500 05/25/40	0.5	206	141	20,470	2040/5/25
		FRTR 0.750 11/25/28	0.75	54	49	7,160	2028/11/25
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	47	44	6,456	2027/5/25
		FRTR 1.000 11/25/25	1.0	145	140	20,286	2025/11/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	248	206	29,947	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	167	157	22,741	2031/5/25
		FRTR 1.500 05/25/50	1.5	229	173	25,192	2050/5/25
		FRTR 1.750 11/25/24	1.75	85	84	12,203	2024/11/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	115	117	16,958	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	186	190	27,615	2027/10/25
		FRTR 4.250 10/25/23	4.25	36	36	5,306	2023/10/25
FRTR 4.500 04/25/41	4.5	28	34	5,022	2041/4/25		
FRTR 6.000 10/25/25	6.0	85	94	13,631	2025/10/25		
小 計					705,792		
イギリス			千ポンド	千ポンド			
イギリス	国債証券	UKT 0.250 01/31/25	0.25	16	14	2,489	2025/1/31
		UKT 0.250 07/31/31	0.25	104	80	13,389	2031/7/31
		UKT 0.375 10/22/30	0.375	31	24	4,143	2030/10/22
		UKT 0.625 07/31/35	0.625	81	57	9,570	2035/7/31
		UKT 0.875 01/31/46	0.875	120	70	11,685	2046/1/31
		UKT 0.875 10/22/29	0.875	37	31	5,265	2029/10/22
		UKT 1.000 04/22/24	1.0	24	23	3,877	2024/4/22
		UKT 1.125 10/22/73	1.125	15	8	1,361	2073/10/22
		UKT 1.500 07/22/26	1.5	37	34	5,805	2026/7/22
		UKT 1.625 10/22/28	1.625	68	62	10,342	2028/10/22

しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー第1期ー

銘柄	当 期 末					償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
イギリス	%	千ポンド	千ポンド	千円		
国債証券	UKT 2.000 09/07/25	2.0	36	34	5,817	2025/9/7
	UKT 2.750 09/07/24	2.75	46	45	7,591	2024/9/7
	UKT 3.750 07/22/52	3.75	80	85	14,230	2052/7/22
	UKT 4.000 01/22/60	4.0	108	127	21,280	2060/1/22
	UKT 4.250 12/07/27	4.25	58	60	10,042	2027/12/7
	UKT 4.250 12/07/46	4.25	15	16	2,786	2046/12/7
	UKT 4.500 12/07/42	4.5	54	61	10,185	2042/12/7
	UKT 5.000 03/07/25	5.0	30	31	5,191	2025/3/7
小 計					145,057	
合 計					2,494,499	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年11月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,494,499	% 99.1
コール・ローン等、その他	21,460	0.9
投資信託財産総額	2,515,959	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (2,514,357千円) の投資信託財産総額 (2,515,959千円) に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2022年11月21日現在、1ドル=140.36円、1カナダドル=104.82円、1ユーロ=144.81円、1ポンド=166.59円です。

# しんきん先進国債券インデックスマザーファンド ー 第 1 期 ー

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年11月21日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	2,515,959,544	
コール・ローン等	9,110,032	
公社債(評価額)	2,494,499,394	
未収利息	11,863,605	
前払費用	486,513	
(B) 負債	272	
未払利息	4	
その他未払費用	268	
(C) 純資産総額(A-B)	2,515,959,272	
元本	2,417,940,727	
次期繰越損益金	98,018,545	
(D) 受益権総口数	2,417,940,727口	
1万口当たり基準価額(C/D)	10,405円	

- (注1) 当親投資信託の設定時元本額は2,999,699,600円、期中追加設定元本額は32,817,837円、期中一部解約元本額は614,576,710円です。
- (注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、しんきん外国債券インデックススペシャル(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)2,415,613,416円、しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジなし)(投資一任用)2,251,083円、しんきん先進国債券インデックス(為替ヘッジあり)(投資一任用)76,228円です。
- (注3) 1口当たり純資産額は1.0405円です。

## ○損益の状況 (2022年2月18日~2022年11月21日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	39,288,027	
受取利息	39,337,889	
その他収益金	508	
支払利息	△ 50,370	
(B) 有価証券売買損益	86,041,950	
売買益	492,739,393	
売買損	△406,697,443	
(C) 保管費用等	△ 1,313,742	
(D) 当期損益金(A+B+C)	124,016,235	
(E) 追加信託差損益金	1,459,886	
(F) 解約差損益金	△ 27,457,576	
(G) 計(D+E+F)	98,018,545	
次期繰越損益金(G)	98,018,545	

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。